

氏名	牧野 由理	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	美術教育学、美術教育史				
学位	博士(芸術学)				
学歴	1995年千葉大学 教育学部、97年千葉大学大学院教育学研究科 修士課程、12年筑波大学大学院 人間総合科学研究科 芸術学専攻				
経歴	2008年東横学園女子短期大学助教、09年東京都市大学人間科学部助教、13年城西国際大学福祉総合学部准教授、16年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会(役職)	美術科教育学会、大学美術教育学会、幼児教育史学会、日本保育学会、明治美術学会				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	視覚教材としての教育掛図 - 明治期における旧開智学校の掛図を対象として-	単著	美術科教育学, 第39号, pp.289-300.	牧野由理	2018.3.
2	近代の〈もの〉と幼稚園 - 明治教育教具の系譜 -	単著	平成26-29年度科学研究費研究成果報告書シンポジウム記録集 近代の〈もの〉と教育, pp.3-15.	牧野由理	2018.3.
(3) 学会発表					
1	標本画家としての佐久間文吾	単著	明治美術学会第4回例会	○牧野由理	2017.10.
2	台北帝国大学における掛図の画工に関する研究	単著	第40回美術科教育学会, 大津市	○牧野由理	2018.3.
(4) その他					
1	平成26-29年度科学研究費研究成果報告書 シンポジウム記録集 近代の〈もの〉と教育		全35ページ	牧野由理編著	2018.3.
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	視覚教育的〈もの〉の変容 - 19世紀後半から20世紀初頭日本・ドイツ比較を中心に - (研究代表者)			2014.4~2018.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	日欧米近代教育掛図比較研究 - <視の教育>の受容と変容 -			2017.4~2020.3
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	アートとコミュニケーション	2017.4~2017.9	映像を活用することで日本の美術の特質や美術史の概観について講義を行った。		
2	アートとコミュニケーション	2017.10~2018.2	映像を活用することで日本の美術の特質や美術史の概観について講義を行った。		
(2) 演習					
1	芸術活動B(美術・造形)	2017.4~2017.9	他学科の学生とグループワークを行わせることで、表現の多様性について理解させた。		
2	芸術活動B(美術・造形)	2017.10~2018.2	他学科の学生とグループワークを行わせることで、表現の多様性について理解させた。		
3	保育表現技術(造形Ⅰ)	2017.10~2018.2	造形の基礎的な技術を学ばせ、表現活動の省察をスケッチブックにまとめさせることで幼児の活動に活用できるようにした。		
4	保育表現技術(造形Ⅱ)	2017.4~2017.9	グループワークや立体的な表現活動を通して、素材に対する理解を深め幼児の活動に結びつけるようにした。		
5	保育内容指導法(造形表現)	2017.10~2018.2	オリジナルの絵本を作成し絵本作品の鑑賞や読み聞かせを行う事を通して、絵本を使った導入方法について理解が深まった。		

6	保育実習事前事後指導ⅠA	2017.4～2018.2	3年生を対象に保育実習で行われる季節に関する事象や行事について指導を行った。	
7	保育実習事前事後指導ⅠB	2017.4～2018.2	3年生を対象に実習施設への理解を深めるために、グループ討議の指導をした。	
8	保育実習事前事後指導Ⅲ	2017.4～2018.2	4年生を対象に施設への理解を深めるために情報提供を行った。実習後は振り返りをさせ報告書の作成指導を行った。	
<b>(3) 実習</b>				
1	保育実習ⅠA	2017.4～2018.2	3年生を対象に事前事後指導と訪問指導を行った。	
2	保育実習ⅠB	2017.4～2018.2	3年生を対象に事前事後指導と訪問指導を行った。	
3	保育実習Ⅲ	2017.4～2018.2	実習先の施設との調整を行った。3年生を対象に、施設での実習について事前事後指導、訪問指導を行った。	
4	教育実習(幼)Ⅰ	2017.4～2018.2	2年生を対象に事前事後指導と訪問指導を行った。	
5	ヒューマンケア体験実習	2017.4～2018.2	グループの学生7名の指導を行った。	
<b>(4) 論文指導</b>				
1	卒業研究	2017.4～2018.2	卒業論文指導 3名	
<b>(5) その他</b>				
1	該当なし			
<b>4. 社会貢献活動</b>				
<b>(1) 講演会、研修会等の講師</b>				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	美術科教育学会第6回乳・幼児部会	美術科教育学会・乳幼児部会	幼児の造形表現－歴史的観点から探る－	2017.12.
2	シンポジウム 近代の〈もの〉と教育		近代の〈もの〉と幼稚園	2017.12.
<b>(2) 国、自治体、財団法人等における委員等</b>				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	該当なし			
<b>(3) ジャーナリズムでの発言</b>				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	GieBener Anzeiger(ドイツ紙)	ドイツの博物館での調査についてコメント。	2017.10.	
<b>5. 学内運営(委員会委員)</b>				
1	学生支援委員会 委員			
2	就職対策部会 部会員			
<b>6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)</b>				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
<b>7. 特許の保有状況</b>				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
<b>8. 特記事項</b>				
1	該当なし			